



二大特集

ガイドヘルプとは
 ありがとう、けやきフェスタ



打だっ鼓連

こげち

けやきフェスタオープニングを飾る鼓笑太鼓の皆さん

社会福祉法人けやきの杜

けやきの杜

Vol.97 2019年 秋号



「はいどうぞ。」けやきフェスタのゲームコーナーでの一場面から。



ガイドヘルパーと電車に揺られ目的地まで。道中の会話も、また楽しい。

ガイドヘルプ（移動支援）で広がる世界

ライフネットでは地域にお住まいの障害のある方や高齢者の方々が、「いつまでもその人らしく住み慣れた地域で自立した生活を営む」事を支援しております。ライフネットではご利用者の自宅に訪問して必要な支援をする居宅支援（介護）や視覚障害の方の外出のサポートを行う同行援護、日常生活に必要な行動に著しい困難がある方のサポートを行う行動援護など様々なサービスにヘルパーを派遣しておりますが、その中で障害のある方の外出のサポートをするのが、「移動支援」です。

移動支援での外出を通して自分の意思が尊重されるという実感をもつことができたり、社会体験の幅を広げたり、社会のルールを身につけるなどの効果も期待でき、その方の生活の充実につながります。また、家族もその方が外出されている時はゆとりができ、家族間の関係を良くし、その方の地域生活の継続に繋がります。障害のある方が移動支援でたくさん地域に出ることによって、障害のある方と地域の方との自然なふれあいや交流ができ、障害への理解が深まることにもつながります。

障害のある方は、お一人での移動の困難さ故に外出を控えることになりがちです。そのために、社会生活上の必要な活動も制限されてしまうこともしばしばあります。人によって障害の状況や外出先、外出にともなう支援は様々です。その個々が必要としている外出に関わる支援を提供して、障害のある方の外出をサポートするのが移動支援であり、その移動支援の中で障害のある方と直接関わり、必要な支援を提供しながら一緒に外出するのが「ガイドヘルパー」です。

ガイドヘルパーとして従事するには、「移動支援従事者研修」

を修了し、「移動支援従事者」の資格を取得する必要があります。市町村によっては資格要件なく、移動支援に従事することもできます。ちなみに国分寺市では移動支援事業所にヘルパーとして登録すれば、国分寺市内にお住まいの知的障害のある方々を対象にしたサービスの場合にはどなたでも（資格が無くても）移動支援従事者として従事することができます。移動従事者研修についてはライフネットやライフネットが参加している国分寺市移動支援連絡会でも企画、実施をしており、移動支援に従事する方を応援しております。

現在ライフネットでは20代の学生を中心に60代から70代のシニアまで幅広い年齢層のヘルパーが活躍しております。今まで障害のある方と関わりのなかったヘルパーが実際に移動支援に従事し、「私と一緒に外出を楽しんでくれた」「色々なところに行けた」「また一緒に行こうと言われた」「こんな楽しい仕事ならもっと早く知りたかった」などの感想も聞かれています。しかし、移動支援は外出先で様々なハプニングがあります。一対一のサービスなので対応に困ることもあります。どうしてもヘルパー一人での対応が困難な場合には、職員が直接現場に向かい対応をアドバイスさせていただく時もあります。そのような事があっても、「次は頑張ります」「もっと相手を知らない」となど前向きな言葉や姿勢で国分寺市の移動支援を支えてくださっております。

ライフネット 所長 岩佐大樹



登録ヘルパーに直撃！！

Q 身に付いたスキルや経験は？

A. ご利用者が安心して楽しく過ごせるにはどうすれば良いか、ご利用者の思いを大切にしているようにしています。例えばどこに行くのか、何をやるのかを前もって伝えたり、人混みを避けたり、その都度ご利用者の気持ちを確認したりするなど心掛けています。

A. 色々な支援に対応する技術や、コミュニケーションをとりづらいご利用者との関係の構築方法や車いすの使い方、トイレでの対応等です。

Q. ガイドヘルパーになると思ったきっかけは？

A. ガイドヘルパーをしている大学の先輩に話を聞き、興味をもちました。障害のある方はどんな生活を送り、どんなサポートを必要としているかを実際に感じたいという思いがあり、この仕事を始めました。

Q. ガイドヘルパーのやりがいは？

A. ご利用者と一緒に過ごす中で、意思をしっかりと持っていること、記憶の良さなど、その方が持つ能力や強みに気づかされることで、一人ひとりの可能性が感じられることにやりがいがあります。

A. ご利用者に寄り添って支援することでご本人やご家族との関係の構築ができ、サービス終了後にご本人やご家族が良い笑顔を見せて下さる時です。

Q. ガイドヘルパーをしていて大変なことは

A. ご利用者との意思の疎通がうまくいかないときです。そのような時には、それまでの出来事や周囲の環境、ご利用者の動きや視線などから何を感じているのかを考えるようにしています。

A. 何かが気になり動けなくなってしまうことにより、サービスがスムーズにいかなくなった時。予期せぬ突発的な行動にとまどった事。しかし、落ち着いてご利用者の気持ちに寄り添うことで、十分に対応できます。



*ガイドヘルパーを目指す人へのメッセージ

・私はガイドヘルパーの経験から、大学卒業後も障害のある方の支援に携わって行くことを決めました。ご利用者の笑顔や外出を満喫している姿を見るととても嬉しく、楽しさがたくさんある仕事です。
・介護技術や障害に関する知識、支援技術は経験を積み身に付き、できるようになるとは思いますが、ご利用者やご家族との関係は誠心誠意寄り添うことにより、仕事に対しても満足感が得られると感じています。何よりも「ガイドヘルパーを目指すあなた」が明るく笑顔で自信を持って接することが大切なのではないかと思っています。

ライフネットでは国分寺市内にお住まいの障害のある方々へ年間約 8,000 時間の移動支援を提供させて頂いています。しかし、ガイドヘルパーの不足から、休みの日などに外出がしたいと希望されている障害のある方々の望みに十分に答えることが出来ておりません。今年度のライフネットの事業計画として新規ヘルパーの登録を 30 人としており、国分寺市内や周辺の大学にヘルパー募集のために授業でガイドヘルパーについて紹介させて頂いたり、近隣に募集チラシを配布させて頂きました。その効果もあって毎月 3～4 人ずつ新規登録ヘルパーも増え、一時育成が追いつかない状況になりましたが、現在は育成も徐々に進んできています。これまで移動支援が使いたくてもご利用出来なかった方達の為に、また十分に移動支援を利用することが出来なかった方達の為に、今後もヘルパーの募集、育成、定着に力を入れ、移動支援を必要とされている方々のご希望に添える体制を整備していきたいと思っています。

ヘルパーを募集しています！

学生さんからシニアの方まで、幅広い年代の方にご活躍頂いています。社会貢献度が高く、ご利用者の方々の生活の充実に無くてはならない存在となっています。慣れるまでは職員が同行いたします。資格がなくても OK です。ご興味のある方はお問い合わせください。

お問い合わせ先 ライフネット 電話042-322-4424



ミニホースとの触れ合いも大人気。「かわいい〜」の声がたくさん聞かれました。東京農工大学ミニホースの会の皆様、ありがとうございました。



国際文化理容美容専門学校の方によるネイルアートやボディシール。毎年、大人気のブースです。フェスタ会場には、かわいいネイルや頬にボディシールを貼ってもらったお子様たちであふれていました。



福引き1等が当選!ステージの上でインタビュー。ドキドキする中、「ありがとうございました」と大きな声でお話されていて感動しました。



青空の下で素敵な演奏が響き渡ります。けやきの杜のお隣にある国分寺市立第十小学校の吹奏楽部の皆さんです。

けやきフェスタを通じて福祉に対する理解を広げてほしいという目的でこのけやきフェスタを開催しています。18回フェスタを重ね、よりお互いの距離や理解が深まる実感があります。障害のある無しに関わらず、楽しめる空間がけやきフェスタだと思います。毎年当たり前のように開催できること、今年度も無事終了したことを感謝申し上げます。ご来場いただいた皆様、イベントでご協力くださった団体様、協賛企業や地域の皆様、本当にありがとうございました。

けやきフェスタ

特集 舞台裏

ボランティアの1日に密着!



せっせとくじ引きの準備。



休憩をとってリフレッシュ。



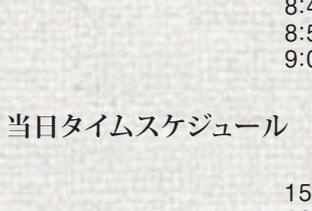
イベントを盛り上げてくださいます。



朝のミーティング、皆さん真剣。



来場者の安全を守ります。



当日タイムスケジュール

- 8:45 受付
- 8:50 ミーティング
- 9:00 担当ごと仕事開始
 - ・ご利用者の付き添い
 - ・模擬店やゲームの手伝い
 - ・ステージやくじ引きの準備
 - ・自転車の整理や誘導など..
- 15:00 片付けの仕事
- 16:00 終了 終わりの会
- 16:30 慰労会



一日ありがとうございました!お疲れ様でした。



見えないところでも頑張ってくださいています。



お客様が帰ったあとも...



最後まで大きな力でした。



委員長からお礼の挨拶。



国分寺市立第九小学校ジュニアバンドの皆さんが迫力のある演奏で特設ステージを盛り上げてくださいました。



お客様においしく召し上がってもらうため、ご利用者も職員も大奮闘。お客様が喜んでいる姿がとても嬉しいので頑張れます。



福引き1等、おめでとうございます!! イベント終了後、ご家族で喜びを分かち合っていました。幸せな空間でした。



福引きの景品、たくさんのお菓子の中から、うーん悩みなあ。考え込むこんな表情もまたかわいいですね。

私たちが大事にしているイベントが今回も無事終了いたしました。今年度は「未来に」というテーマでけきフェスタを行いました。ご来場いただいたお子様たちが、10年後、20年後に自分の家族をつれて一緒に来たくするようなイベントになれたらと思企画・準備をすすめて参りました。当日のふとした一瞬一瞬が、どこか心の片隅に残り、皆様の未来につながる何かのきっかけになっていたいただければ幸いです。お子様たちや地域の皆様が

未来へつながる

・ボランティアを始めてみようと思ったきっかけは

→教員として働いていたころ4年生の生徒たちを連れて、1学期と2学期に1回ずつ授業の一貫として体験に来ていました。調布の学校の普通学級で障害を持っている生徒との関わりがあり、とても楽しい思い出でいっぱいでしたが、この子が学校を卒業し成人したらどうなっていくのだろうか、ふと思う事がありました。

・ボランティアからみたけきフェスタとは

→一人一人の利用者さんが楽しそう、嬉しそうに見えました。いつも会えない利用者さんの仲間同士の会話であったり、「自分たちが主役なんだ」という前向きな気持ちや表情や動きに出ていると思います。地域の人たちとの触れ合いが、みんなの明るい笑顔を引き出しています。また、各事業や福祉として又は教員としての立場ではなく、フェスタに参加し気兼ねなく楽しむことによって、子どもたちや自分の教え子の福祉へのきっかけになっていると思います。



・地域の方やボランティアをするかで迷っている方へのなどに対するメッセージ

→身構えることなく、一度足を運んでみて欲しいと思います。ボランティアという意識ではなく、ちょっとお手伝いをするという気持ちで気兼ねなく参加してほしいです。

・ボランティアで大変な事

→大変だったと言う事はありません。利用者さん対応に最初は不安はありましたが、職員の動きを見て学び、日々充実していました。そこには、小学校の教員という経験が利用者さん対応にも生き、外作業など利用者さんの安全や、どのように自分が動けば職員の方が動きやすいかを考える事ができました。

・ボランティアとしてのエピソード

→フェスタでは利用者さんに付き添い、一緒に参加し、楽しい思い出ばかりです。普段のボランティアでは、主にワークセンター・さくらの生活介護や自立訓練にいますが、最近のエピソードでは三か月前に少し落ち着かない利用者さんに声をかけたところ、メガネを落とされたことがありました。帰りにその利用者さんに、「さっきはすみませんでした」と再び声をかけた所、「ごめんなさい。私も悪かったです」と返事をされて、とても救われた気持ちでした。そんな様子を利用者さんの成長の過程を感じる事ができ、とても嬉しさを感じました。



「また会いたいから来ています。フェスタだけでなくワークセンター・さくらにもボランティアに来てくださっている萩原俊一さんにお話を聞きました。」

当日は97名ボランティアがフェスタを支えてくださいました。

平成30年度社会福祉法人けやきの杜事業報告及び決算報告は、令和元年5月13～14日に監事監査を受け、令和元年6月8日理事会での審議を経て令和元年6月26日評議員会において承認されました。

以下、内容を抜粋してご報告致します。（報告書
原本は、さくら事務所で閲覧可能です。）

平成30年度 社会福祉法人けやきの杜 事業報告

平成30年度は、以下の4点について重点的に取り組みました。

(1) 法人内諸課題の是正

利用者増加に伴い現場の負担が増していた通所事業所送迎について、一部外部委託化（乗車定員14名の車両1台及び運転手1名）を行いました。これにより通所事業所における朝夕の職員体制が改善できたと共に、法人車両の効率化（30年度2台廃車完了・次年度中に3台を廃車予定）が進みました。

クラウド型グループウェアを導入し、データの共有化や職員のスケジュール管理・把握が容易となり、業務効率が大きく向上しました。また、USBメモリの使用を禁止して、クラウドに統一することにより、内部情報のセキュリティが向上しました。

給与・人事労務管理関係の業務効率化を目指してシステム変更を行いました。担当への負担軽減には至らず、次年度へ課題を残すこととなりました。

法人が事業展開や人材育成に計画的に取り組むことを目指し、『社会福祉法人けやきの杜中期経営計画』の策定作業に取り組みました。次年度上期中の策定を目指します。

(2) 利用者支援の底上げ

日常的なOJTや外部研修への派遣に加え、経験豊富な管理職が各階層の職員に対して支援に必要な視点を伝える勉強会『支援塾』を5回開催し、支援に対する意識・技術の向上を図りました。また、定期的な家族会の開催や、利用者・ご家族・職員参加による『合同親睦会』の開催を通じてコミュニケーションを深め、ご家族との関係強化や支援への反映を図りました。

希望園、ワークセンター・さくら、小規模多機能むさしに安全カメラを設置し、事故を防止するとともに、事故が生じた時の事実関係の検証に寄与しました。

(3) 人材確保

新卒者採用に向け計画的に取り組んだ結果、今年度も2名の新卒者を採用することができ、一般職員については十分な人員を確保しました。しかし、ヘルパーや夜勤スタッフ等の確保については、待遇を改善すると共に積極的な募集を行いました。慢性的な不足状況から脱却ができませんでしたが、更なる人材確保が必須です。次年度においては更なる工夫・努力が必要です。

(4) 職員育成・研修

職員が各階層の役割に応じた能力を身につけるため、積極的な研修を実施しました。キャリアパス規程に基づいた、職位に対して必要な資格のための個人別の研修計画の作成が不十分だったので引き続き取り組みます。また、自己研修を奨励し、教育訓練制度を活用するための制度運用について検討が不十分でした。

平成 30 年度

社会福祉法人
けやきの杜
決算報告

事業活動収支計算書（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
I	サービス活動増減の部			
	サービス活動収益計(1)	729,594,951	702,382,908	27,212,043
	サービス活動費用計(2)	786,136,143	751,065,987	35,070,156
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-56,541,192	-48,683,079	-7,858,113
II	サービス活動外増減の部			
	サービス活動外収益計(4)	12,101,931	13,697,135	-1,595,204
	サービス活動外費用計(5)	723,042	3,681,942	-2,958,900
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	11,378,889	10,015,193	1,363,696
	経常活動増減差額(7)=(3)+(6)	-45,162,303	-38,667,886	-6,494,417
III	特別増減の部			
	特別収益計(8)	0	196,970,526	-196,970,526
	特別費用計(9)	654,140	207,743,713	-207,089,573
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-654,140	-10,773,187	10,119,047
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-45,816,443	-49,441,073	3,624,630
IV	繰越活動増減差額の部			
	前期繰越活動増減差額(12)	476,275,533	500,437,306	-24,161,773
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	430,459,090	450,996,233	-20,537,143
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	3,387,000	26,529,300	-23,142,300
	その他の積立金積立額(16)	0	1,250,000	-1,250,000
	次期繰越増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	433,846,090	476,275,533	-42,429,443

貸借対照表（平成 31 年 3 月 31 日現在）

	当年度末	前年度末	増減
I 資産の部			
1. 流動資産	409,624,705	593,758,588	-184,133,883
現金預金・未収金・前払費用・有価証券等			
2. 固定資産	551,245,400	571,879,605	-20,634,205
基本財産・有形無形固定資産・その他積立金等			
資産の部合計	960,870,105	1,165,638,193	-204,768,088
II 負債の部			
1. 流動負債	110,752,654	259,342,007	-148,589,353
その他の未払金・未払費用・賞与引当金等			
2. 固定負債	89,429,884	88,865,944	563,940
設備資金借入金・退職給与引当金・長期預り金等			
負債の部合計	200,182,538	348,207,951	-148,025,413
III 純資産の部			
1. 基本金	4,003,300	4,003,300	0
2. 国庫補助金等特別積立金	254,165,036	265,091,268	-10,926,232
3. その他の積立金	68,673,141	72,060,141	-3,387,000
4. 次期繰越活動増減差額	433,846,090	476,275,533	-42,429,443
(うち当期繰越活動増減差額)			0
純資産の部合計	760,687,567	817,430,242	-56,742,675
負債及び純資産の部合計	960,870,105	1,165,638,193	-204,768,088

けやきの杜子ども作文コンクールのお知らせ

「けやきの杜子ども作文コンクール」は、今年で第12回目となります。国分寺の次世代を担う小学生のお子様たちが、福祉をより身近に考える機会になってほしいという願いのもと、特に5年生、6年生のみなさんに、毎年「障害」に関わる作文を募集し、発表、表彰させていただいております。昨年度は小学生392名から作文をお寄せいただきましたが、いずれも素晴らしい作文ばかりであり、お子様たちの率直で柔軟な考え、そして新鮮な視点に多くの大人たちが感銘を受けました。

本コンクールは、昨年までは、「けやきフェスタ」という、法人全体のイベントの中で募集、発表、表彰させていただいておりましたが、今年度より、地域のより多くの方々に想いや考えを知ってもらうため、表彰式を障害者週間に合わせ開催致します。今年も作文を通じて多くのお子様たちと「共に認め支え合う」ことについて考え、自分も周りの人も大切にする気持ちをより深める機会となれるように進めてまいります。また、お子様たちの作文を通して、地域における福祉への理解・関心が更に広がることを願っています。

後 援：国分寺市、国分寺市教育委員会、国分寺市社会福祉協議会

応募資格：国分寺市内の小学校に通う5年生、6年生

内 容：テーマ「国分寺のまちが、しょうがいのある人やお年寄り、私たちにとってくらしやすくなるには？」
～いろいろな人が一緒にくらす社会を考えてみよう～

募集締め切り：令和元年11月6日(水)

表彰式：令和元年12月7日(土) cocobunji プラザリオンホールにて

お問合せ：社会福祉法人けやきの杜ワークセンター・さくら 電話042-324-3376 担当：畠中

協力会費の納入とご寄付ありがとうございます（平成31年4月～令和元年8月分）

【協会の会費】(敬称略)

〔5口以上〕松井充夫／若松マサ子／(有)矢沢モータース／水野容子／タツミ建設(株)代表取締役荒井大介／(株)日生／あさひ国際旅行(株)／(有)井口葬儀店代表取締役井口榮一／(有)エクシード代表取締役荒田一美／(有)IMプランニング土手内勇介／山本智文

〔2口以上〕鈴木薫／大和通信機(株)／萩野幸子

〔1口以上〕穴戸芳子／井田良文／去来川富男／池谷敏子／岡橋生幸／鈴木千香子／(有)栄組代表取締役堀江隆行／佐藤友子／土田禎子／高山美子／川島和義／川島草子

【協会の寄付】(敬称略)

〔94,000円〕荒井東治 〔10,000円〕医療法人社団エフエムティ／伊藤孝一

〔5,000円〕(株)セーフ建築工房代表取締役坂井幹夫／(有)野口電器国分寺店／遠藤草浩 〔3,000円〕川島和義

○ブルトップの収集にご協力いただいている皆様(敬称略)

長野市・グループ「まちの縁側」代表塚田晃子、国分寺市長野県人会、国分寺市赤十字奉仕団、国際文化理容美容専門学校国分寺校、佐藤和秋(戸倉)、スナック小藤(本町)、(有)浅見畜産(本町)、増井品子(高円寺)、内藤享子(世田谷・赤堤)、津島圭子(新宿・セントラル)、(仮)NPO法人緑の種【大串忠夫(葛飾区)、小谷豊(株)プリモトラベル(千代田区神田)、オフィスマエダネゴ】、西本頼雄(大田区東雪谷4丁目)

社会福祉法人けやきの杜へのご寄付ありがとうございます

【寄付金】(敬称略)〔100,000円〕阪田雅裕／匿名 〔20,000円〕匿名

編集後記

けやきの杜秋号の発行にあたりたくさんの方々にご協力頂きありがとうございます。

今号特集のけやきフェスタでは、ボランティアに密着して記事を作成させて頂きました。ボランティアのご協力があったからこそ、今年のけやきフェスタも地域の皆様やご利用者に喜んで頂き、たくさん笑顔を見ることができました。誠にありがとうございます。

そして、今号の広報誌の表紙の「けやきの杜」はワークセンター・さくら生活介護 池俊樹さんに書いて頂きました。

とても味がある素敵な字を書いてくださいました。次回の広報誌の表紙も利用者さんに書いて頂きますのでどのような「けやきの杜」になるかお楽しみください。(広報委員：高砂 有哉)